

東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2-20-4
電話 03-3790-1751
URL <http://www.tokometal.co.jp>
(見学受付)
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

梅雨明け前から真夏が続いています。長期天気予報によれば今年の夏も平年より暑いとか。震災後の電力不足対応で7月1日から37年ぶりに電力使用制限令が発動されました。土休日除7月1日～9月22日(東電管内)です。ユニホームをポロシャツに変えたり、平日を休みとし、土日に稼働する。また、在宅勤務を始める会社など、各社真剣に取り組んでいますが、休みたいも休めない会社もあるはずで、節電を第一にするために、暑さの中で体調を崩さないように注意が必要でしょう。今までは料金を支払えば使えたものが、逆に使い過ぎると罰金を支払うなんて全くの想定外です。ただ、資源を大切に使うという意識を皆が真剣に考えるよい機会だと前向きに明るく対応したいものです。

電力だけでなく、残された資源をできる限り循環させるよう、処理をお受けした産業廃棄物のリサイクル率を上げるべく、東港金属株式会社も処理工程の工夫をしています。身近なリサイクルパートナーとして、お気軽にご相談ください。



営業部 Y の考察

鉄・非鉄スクラップ・市況からの7月予測

★羅針盤

- 鉄スクラップ** → 考察) 今年半ばから需要が増え6月は上昇に転じると予測していましたが、ほとんど動きがなく最終的に500円/トン上げて35,500円/トンでした。7月は、需給が緩いため横ばいと思われる。
- 銅** → 考察) 6月は銅建値790,000円/トン、LME9,230ドル/トンでスタート。ギリシャの財政問題で上げ下げを繰り返し、一時は9,000ドル/トンを割り込む場面もあり、先行きが解りませんでした。月末にギリシャの5カ年緊縮財政法案が可決され約2カ月ぶりに高値を付け9,375ドル/トンまで上昇。7月は上昇すると思われる。
- アルミ** → 考察) 6月は銅と同様に社会情勢によりLMEは上げ下げを繰り返しました。実際は、LMEの価格だけでなく、自動車の生産の復旧により需要が高まると思われるので7月は多少上昇すると思われる。
- プラスチック** → 考察) 原油と為替に左右される物ですが、実際には中国の需要が高まれば上がります。しかしながら、ここ数カ月価格変動はないことから、しばらく横ばいでしょう。

6月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	×
銅	○	プラスチック	○



チャレンジ人生

(第2回)

今回は、ストリップ劇場の修行で少々エロチック過ぎたお話をしたと反省しつつ、今回はいよいよお笑い界へデビューする話をしたいと思います。修行が終え、正式にコントのコンビを組むことになりました。コンビ名は、「Wコミック」Wけんじ一門です。

わたくし山本ケンジと、相方はガス錬冶(レンジ)さん。私よりも18歳年上のベテランコメディアンです。実は、このWコミックは、私が8代目の相方になります。いままでガス錬冶さんとWコミックを組んだ芸人さんは永くて1年だそう。そんなことは知らずに私は、お笑いスター誕生に出ていたWコミックに入れば、すぐにテレビに出られる。しかも太田プロ所属であるから、ビートたけしさんのようになれるのではと浅はかな考えを持っていました。

新コンビ結成で初めてのいただいた仕事は、キャバレーの余興でした。それからクラブパーティー、そして演歌歌手の地方巡業の前座を務めました。演歌歌手の前座は、主に美空ひばりさんの前座が多く、同じステージに立ちました。とはいってもあくまでも前座。色々な地域を回りましたが、一度も顔を見たことがありませんでした。常に付き人20人が、舞台の袖から移動のベンツまで壁を作っていました。また美空ひばりさんの楽屋の前を通ることは決して許されませんでした。それだけ大スターだということです。

そんな仕事約2年続きこのまま余興芸人で終わってしまうのかと不安になっているときにチャンスが来ました。「横山やすし漫才教室」という企画があり、ノーギャラで出演させていただきました。この企画は、澤田隆治さんという名プロデューサーが若手芸人育成のために打ち立てたもので、出演者が、新ネタを披露し競うものでした。月に1回ペースで行われ番組にもなりました。運よく関西テレビで吉本興業の若手芸人と競い優勝し、それが縁で吉本興業の花月に呼ばれることになり、メジャーに一歩足を踏み入れることになりました。この続きは、次回9月号でお話します。

山本 兼嗣(営業部 統括課長)

不況時の原料リサイクルビジネス

今回のテーマは、元ラリーマンショック後のリサイクルビジネスについてお話をしようと思っていたのですが、東日本大震災も重なり、我が国の行く末に更なる不透明感が漂ってきた中での考えとなります。

不況とは、そもそも「経済が停滞している様で、生産量や雇用量の縮小、物価や利率が低い水準を続けている事」という事です。大まかにいえば、物の流れが悪い、物価が下がっているという事ですから、当然再生原料であるスクラップも使用量が減り、その結果価格が下がるという事になります。すなわち、再生原料取引において価格が下がるという事は、

物量が減る=発生量が減る
需要が減る=価格が下がる

という事で、集荷競争が激しくなる一方で価格が下がるので、差益の取れない二重苦の状況となるわけです。こういうアゲントの風が吹く状況ですが、そんな時こそ各リサイクラーの競争力が求められます。

自らの特長を出し、数少ない発生元やユーザーにメリットを提供することは勿論、財務的な体力、工場を低コストでまわしていく力などが求められ、企業の操業力が問われてくるわけです。

通常、発生量の少ない時には、ついつい価格のみの勝負に陥りがちですが、私はこれを是としていません。相場が上がる事を前提とした不適切に高い金額での仕入、加工処理代や引き取り運賃を見ない形での価格提示がなされるケースも多く、営業活動の中ではこのような泥沼の価格競争になる事も出てきます。

相場を張る事は自らでコントロールできない市場価格に会社経営を委ねる事であり、避けるべきでしょう。大切なのはどう付加価値を付けるか、どう低コスト化を図るかという精査を続ける事なのです。

そう考えると、単一原料のみを扱っていくのではなく複合的な素材を扱い、発生元に付加価値を提示すること、そして加工力を高め品質を上げる事でユーザーにメリットを提示することが如何に重要かわかります。

何も高価な設備機械で素材ごとに大量に、且つ自動的に選別加工をする事がすべてではありません。入荷した際に異材や高価なものがあれば、人手でちょっと分けてみる等の工夫の積み重ねによる効果は大きく、細部にわたり意識レベルを高める事が最も大切なのではないでしょうか。

当社でも「格上げ運動」と称して、高付加価値な物を分けて採取していく活動を続けています。すぐに莫大な効果が出るものではありませんが、自らで出来る事を着実にやっていくという事なのです。

「天は自ら助くる者を助く」という言葉の通り、大アゲントの今ほど一人一人の意識の持ち方が問われる時はないのです。

福田 隆(代表取締役)

★羅針盤

レアアース発見のニュース

パソコンや携帯電話、電気自動車などに使われ、日本の産業に欠かせないレアメタル。経済産業省では31鉱種を指定しています。この中の1鉱種であるレアアース(希土類)の埋蔵量は名が示す通り希少で、日本で一番埋蔵量が多いのは都市鉱山といわれる前述の使用済み携帯電話やパソコン等の製品の中に含有されているものと言われております。

このレアアースが今回東大チームにより太平洋海底の泥の中から見つかったと報道されました。陸上埋蔵の1000倍量との試算。場所が公海上の海底なのでこの先は未定ですが、あると判明したことは大きな意義がありそうです。